



レオナルド・ダ・ヴィンチと 「アンギアーリの戦い」展

～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～

中国新聞創刊125周年 広島テレビ開局55年記念

Leonardo da Vinci
and The Battle of Anghiari
— The Mystery of Tavola Doria —

作者不詳(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)《タヴォラ・ドーリア》(《アンギアーリの戦い》の軍旗争奪場面)
16世紀前半 フィレンツェ、ウフィツィ美術館(2012年、東京富士美術館より寄贈) Ex S.S.P.S.A.E e per il Polo Museale della città di Firenze-Gabinetto Fotografico

会期 平成29(2017)年
9月5日(火)～10月22日(日)
会期中無休

開館時間 9:00～17:00
※金曜日は20:00まで、入場は閉館の30分前まで
※9月5日(土)は10:00開場

料金 一般 1,300円 (1,100円)
高・大学生 900円 (700円)
小・中学生 600円 (400円)
※()内は前売・20名以上の団体料金

6月30日より前売販売開始!



- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぶる〜ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口より発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum



【開催趣旨】

レオナルド・ダ・ヴィンチ未完の大壁画《アンギアーリの戦い》。この壁画はフィレンツェのシニョリーア宮殿（現ヴェッキオ宮殿）を飾るために16世紀初頭に発注されたものです。この一連の装飾計画はレオナルドとミケランジェロが戦闘画で競演したエピソードで有名ですが、レオナルドはこの壁画を完成させることができず、その未完の大作は1560年代にジョルジョ・ヴァザーリの新たな壁画で覆われてしまいました。しかし部分的に描かれていたレオナルドの壁画は半世紀以上も人々の目に触れ、その迫力ある表現は、戦闘画の新基準として、続く世代の芸術家たちに大きな影響を与えました。

本展のメインとなる作品は、レオナルドによる壁画の中心部分であった「軍旗争奪」の戦闘場面で《タヴォラ・ドーリア（ドーリア家の板絵）》（日本初公開）と呼ばれる16世紀の有名な油彩画です。また、ミケランジェロが構想した壁画の大下絵を模写した、16世紀の板絵《カッシナの戦い》（同じく日本初公開）も並べて展示します。部分的ではありますが、かつて実現するはずだった夢の競演の再現。さらに、レオナルドの構図に基づく模写や派生作品、壁画に関連する歴史人物の肖像などを通し、レオナルドが試みた視覚の革命を検証し、イタリア美術史上の一大エピソードである失われた壁画の謎と魅力に迫ります。

【展覧会の構成】

第1章 歴史的背景

〈セクション1：フィレンツェ共和国〉

背景となったフィレンツェの政治体制の変化を、当時のフィレンツェ変革に関わった人物の肖像画等を中心に紹介し、壁画制作の歴史的背景に迫る。

〈セクション2：1440年6月29日、アンギアーリの戦い〉

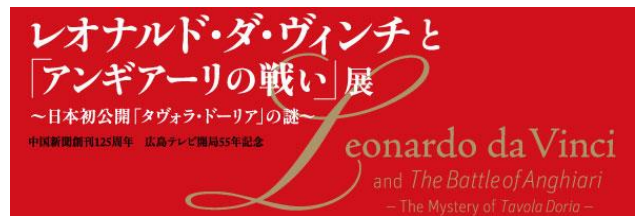
壁画のモチーフであるアンギアーリの戦いに関わった人物や、当時の戦闘場面を示す資料を紹介。



アンドレア・デル・ヴェロッキオ[フィレンツェ 1435年頃—ヴェネツィア 1488年]と工房
ピュドナの戦い
1475年頃
パリ、ジャクマル・アンドレ美術館
Institut de France, Musée Jacquemart André, Paris

press release

第2章 失われた傑作と 二大巨匠の幻の競演



〈セクション1：壁画「アンギアーリの戦い」〉

古文書資料を通して、失われた壁画制作の経緯と経過をたどると同時に、その全容に迫る。また、「タヴォラ・ドーリア」と同時期あるいは以後に描かれた模写作品群を比較展示する。

〈セクション2：ミケランジェロとの幻の競演〉

レオナルドの「アンギアーリの戦い」と同様に、現存しないミケランジェロの「カッシナの戦い」の16世紀の模写を中心に、二大巨匠が成しえなかった幻の競演を再演する。



クリストファノ・デッラルティッシモ
[フィレンツェ 1530年頃 - フィレンツェ 1605年]
ミケランジェロの肖像
1566-68年
フィレンツェ、ウフィツィ美術館
Ex S.S.P.S.A.E e per il Polo Museale della città
di Firenze - Gabinetto Fotografico



アリストーティレ・ダ・サンガットロ(本名バステアーノ・ダ・サンガットロ)[フィレンツェ 1481年 - フィレンツェ 1551年]
カッシナの戦い(ミケランジェロの下絵による模写)
1542年
ホウカム・ホール、レスター伯爵コレクション
© Collection of the Earl of Leicester, Holkham Hall, Norfolk
By kind permission of Lord Leicester and the Trustees of Holkham Estate

幕間 優美なるレオナルド

「アンギアーリの戦い」でレオナルドが追求したのは、人間の凶暴な側面の表現であったといえる。一方、彼の芸術的関心は人間の優美な姿の追求であった。ここでは、レオナルドの精巧な模写作品などにより、彼が追求した優美なる美の世界を紹介する。



作者不詳(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく) 聖アンナと聖母子
16世紀
ヴェネツィア、アカデミア美術館素描版画室
© Archivio fotografico Gallerie dell'Accademia-Gabinetto dei disegni e stampe -
"su concessione del Ministero dei beni e delle attività culturali e del turismo -
Museo Nazionale Gallerie dell'Accademia di Venezia"

press release

第3章 視覚革命「アンギアーリの戦い」 以後の戦闘表現

〈セクション1:「アンギアーリの戦い」と ルーベンス〉

レオナルドからルーベンスへ引き継がれた力強い表現力（特に馬の表現）や 戦闘表現について 検証する。

〈セクション2:「アンギアーリの戦い」の バロック時代への遺産〉

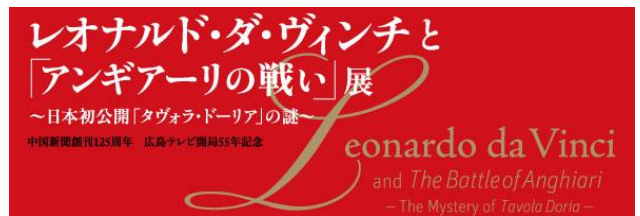
レオナルドの残した戦闘表現が、イタリアやフランスのバロック美術にもたらした影響について 考察する。

終章 レオナルドを求めて

—ここからはじまる、失われた傑作追求の第一歩
「タヴォラ・ドーリア」公開の経緯、これまでの調査
研究の状況、保存修復や科学的調査の現状を
紹介。3D立体復元彫刻も紹介する。

特設展示 天才ダ・ヴィンチのひみつ

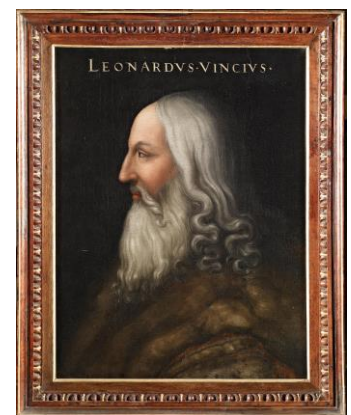
大人から子どもまで幅広い年齢層向けにダ・ヴィンチの人間性を知ってもらう
コーナーとして、素描・手稿の複製や科学・飛行技術等さまざまな分野のメモ
書きを立体化した模型資料、モナリザ等の複製パネルを展示。



《ピーテル・パウル・ルーベンスに帰属(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)アンギアーリの戦い》
17世紀初頭
ウィーン美術アカデミー絵画館
Gemäldegalerie der Akademie der bildenden Künste Wien



木本諒、井田大介、布山浩司、大石雪野、横川寛人、宮田将寛《タヴォラ・ドーリア》の立体復元彫刻
2015年
東京富士美術館
© Tokyo Fuji Art Museum



クリストファノ・デッラルティッシモ [フィレンツェ 1530年頃 - フィレンツェ 1605年]
レオナルド・ダ・ヴィンチの肖像
1566-68年
フィレンツェ、ウフィツィ美術館
Ex S.S.P.S.A.E e per il Polo Museale della città di Firenze - Gabinetto Fotografico

press release



【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。
※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。
※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。
※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。ご了承ください。

【関連イベント】

講演会 (共催: 広島県立美術館友の会)

日時: 10月1日(日) 13:30~15:00 (開場13:00)

講師: 越川倫明(東京藝術大学教授)

演題: 「レオナルド・ダ・ヴィンチと《タヴォラ・ドーリア》(仮題)」

会場: 地階講堂 ※聴講無料。申込不要。定員200名(先着順)

ギャラリートーク

日時: 9月8日(金)、9月22日(金) 各18:00~

講師: 広島県立美術館 学芸員

会場: 3階企画展示室 ※入館券が必要です。直接会場にお集まりください。

スライド・トーク

日時: 9月8日(金)、9月22日(金)、10月6日(金)、10月20日(金)

各11:00 ~

講師: 広島県立美術館 学芸員

会場: 地階講堂 ※聴講無料。申込不要。定員200名(先着順)

ウェブレポーター大募集

日時: 9月8日(金) 17:00~18:30

受付場所: 3階ロビー 実施場所: 3階企画展示室内

対象: ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックなどのSNSにて情報発信をされている一般の方
(参加者は、本展にご招待)

【縮景園連携】

ワンコイン縮景園 本展入館券のご提示により、100円で縮景園にご入園いただけます。

縮景園共通券 一般1,400円 高・大学生1,000円 小・中学生700円

press release



【開催概要】

メインタイトル：レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展

サブタイトル：日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎

英語名：Leonardo da Vinci and The Battle of Anghiari: The Mystery of Tavola Doria

料金：一般 1,300(1,100)円 高・大学生900(700)円 小・中学生600(400)円

※()内は前売り・20名以上の団体料金

・学生券をお求めの際は学生証のご提示をお願いします。

・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。

前売券販売所：広島県立美術館、セブン・イレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード 61737)、チケットぴあ(Pコード:768-444)、e+(イープラス)、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画廊・画材店、中国新聞社読者広報部、中国新聞各販売所(取り寄せ)などで販売しています。

開催クレジット：

主催 広島県立美術館、広島テレビ、イズミテクノ、中国新聞社

特別協力 イタリア文化財・文化活動・観光省美術館総局、ウフィツィ美術館

特別後援 イタリア共和国大統領

後援 外務省、文化庁、イタリア文化財・文化活動・観光省、イタリア大使館、イタリア文化会館、フィレンツェ市、中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMIはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7、ちゅピCOMひろしま、ちゅピCOMふれあい、ちゅピCOMおのみち

協賛  広島県信用組合

協力 NHKエデュケーショナル、アリタリア-イタリア航空、日本航空、アルテリア、ヤマトロジスティクス

企画協力 東京富士美術館

問い合わせ先 広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail m-kaminishis4677@pref.hiroshima.lg.jp (上西宛)

担当:学芸課 主任学芸員 角田 新 広報担当:総務課 上西 真由美 一色 直香